

年頭のごあいさつ

新年おめでとうございます。

皆様には輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震、続く9月にも奥能登豪雨災害が発生いたしました。被災された皆様に改めてお見舞いを申し上げます。

また、本市におきましては、郡山市制施行100周年を迎え、多くの皆様の御参加のもと、創意工夫と進取の気性に富んだ延べ104件の記念事業を実施することができました。関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。加えて、堅調な税収や活況な企業進出のほか、開成山公園のリニューアルオープン、デンソーエアーリービーズ様のホームタウン移転など、節目の年に相応しく明るい話題に事欠かない一年でもありました。

さて、私たちは人口減少、少子高齢化、気候変動など、これまでの知識・経験だけでは対応できない重い課題に直面しております。このような時代だからこそ、「フィードフォワード（未来に向けた解決策）」の視点により、一つひとつの課題を解決し、次の100年の礎となる持続可能な「課題発見・解決先進都市」を構築していかなければなりません。

そのためには、子どもたちが健やかに成長し、将来一人二役・一人三役の活躍をしていただけるよう、「子どもが安心して生まれ、育つベビーファーストのまち郡山」の実現を目指すとともに、DXの積極的な推進の下、世界的課題であるカーボンニュートラルの実現等、SDGsの理念である「誰一人取り残されない」まちづくりを進めてまいります。

また、私は郡山市の「CFO（最高財務責任者）」との認識の下、税外収入の確保や民間資本の積極活用に努めるとともに、貴重な税財源を投資効果の高い事業に振り向けるなど、安定的かつ持続可能な財政運営に努めてまいります。

本市は、次の100年に向けた新たな歩みを始めました。100年後、そして1,000年後の市民の皆様にも評価いただけるよう、誰一人取り残されず、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じることができる、「ウェルビーイング都市・郡山」の創生・発展を目指し、共に歩んでまいりましょう。

本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となることを心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。